



平成29年度 長野市 P T A 連合会

第 1 回単位 P T A 保護者代表会

テーマ①「参加したい学級懇談会 参加してよかった学級懇談会」

テーマ②「応援しよう！子どもの自立」

第1回単位PTA保護者代表者会 分散会

各単位PTAの保護者代表者の方にご参加いただき、平成29年6月17日土曜日に第1回保護者代表者会を開催いたしました。

長野県民新聞社 加藤二佐雄氏の講話後、第2部として分散会を行いました。

4名～6名の17グループに分かれ、グループディスカッションの手法のひとつである、「ワールドカフェ」を少しアレンジしたこの日のオリジナルの形式で分散会を行いました。

2つのテーマに沿い、2回の席替えを交えながら約1時間、グループで意見を出し合い、直接模造紙に書きこんでいきました。初めは硬くなっていた表情も、イラストなども落書きしつつ、おしゃべりをするうちに笑顔になり、話に夢中になってしまい模造紙への記入ができないほど、どのグループも活発な意見交換をすることができました。

短い時間ではありましたが、子どもの学年、学校やブロックを超えた交流の中で、気づきを得られるとても有意義な分散会となりました。

出された意見をグループ毎にまとめました。参考にご覧ください。



「ワールドカフェ」とは

ワールドカフェとは、“カフェ”にいるようなリラックスした雰囲気の中、参加者が少人数に分かれていくつかのテーブルで自由に対話を行い、決められた時間でテーブルのメンバーをシャッフルしながら話し合いを発展させていく、参加者の意見や知識を集めることができる対話手法のひとつです。その考え方や方法論は世界中に普及し、ビジネスや市民活動、まちづくり、教育などさまざまな分野で活用が進められています。

【「ワールドカフェ」のメリット】

- ①発言しやすい雰囲気です
- ②意見が言えなくても、模造紙に落書きができます
- ③どんな意見も否定はしません
- ④結論や正解は出す必要がありません
- ⑤参加者全員の意見が集まります
- ⑥共感が生まれます
- ⑦お茶を飲みながら、お菓子をつまみながら、リラックスして取り組みます
- ⑧自分が最初に話したテーブルでのアイデアが、どんどん他のテーブルへと広がり、交わり、様々な発想が生まれます

グループ①

テーマ①「参加したい学級懇談会 参加してよかった学級懇談会」

- ・明るい、笑顔ある懇談。
- ・親子参加型を学校で！！
- ・テーマがある。
- ・グループ形式だと参加しやすい。
- ・授業風景をスライドショーで見ながらだと話が膨らむ。(しかし、先生任せになってしまう)
- ・教室以外でも場所はいいのかも。(開放的な場所と雰囲気)
- ・お父さんの参加を！(父親目線の意見)



お父さんの参加について

- ・土曜日にお父さんも出られるスポーツ(サッカーなど)をすると、お父さんも参加しやすい。
- ・加茂小ではカモチャールームという活動がある。
- ・実際はお父さんが出てくることはあまりない。学級懇談会以外にも、もっと違った場面に参加することで、顔見知りになり、話をしやすい環境ができてくるのでは？

実際に感じていること

- ・学級会長や役員の進行の仕方で雰囲気が変わる。
- ・参加者を多く集めることも重要。毎回同じ人が参加しているということがある。
- ・子どもの友達の親とは話しやすい。子どもと同性的なお母さん同士など。

テーマ②「応援しよう！子どもの自立」

- ・自立とは自ら立つ ・生きていく力 ・親が子から離れる
- ・母子一体が長いのでは？
親が思っているよりしっかりとしている。大人！！成長している。
- ・外では良い子、うちでは悪い子当たり前
「ママはあなたがいて助かる」攻撃で子どもはいろいろとお手伝いをしてくれる。
- ・任せる → 手・口ださず。出来たら褒める。親が頑張りすぎない。
- ・他の方から聞いた、学校での姿に驚くことがある。
- ・育児は育自
ママは〇〇がいるから「助かる」攻撃(自分のものは自分で管理できるようになった)
転ばぬ先の杖にならないように！！見守る勇気と忍耐力！！
- ・過保護にならないように
自分が子どもの時を思い出して。
子どもよりも先に親がしゃべってしまう。
親が先にやっちゃうから、子どもはできない。

グループ②

テーマ①「参加したい学級懇談会 参加してよかった学級懇談会」

- ・先生の話が聞きたくて、たくさん人が集まる。
- ・出席率100%が2回も続いた。
(このクラスは、役員じゃないお母さんが盛り上げてくれていて、話すときに被り物をかぶって話すほど、雰囲気がいい)
- ・参加率の良いクラスだったけど、他の学校のクラス懇談会が出席率100%と聞いてビックリした。
- ・先生、クラスの雰囲気が大事だと改めて思った。
- ・その学年の大事なポイントみたいなことを、先生から教えてもらった時に出席してよかったと思った。
(このクラスは2年生で、逆上がりが上手になってほしいと担任の先生から言われて、お家でも練習するようになった)
- ・親同士のおしゃべりは、心が軽くなる。
- ・懇談会の時に、名札に子どもの顔写真も貼ってあってわかりやすかった。
- ・先生が失敗談を話してくれたりしておもしろい。

テーマ②「応援しよう！子どもの自立」

- ・見守りと放任。
- ・お母さんは味方だよ！と思ってもらうことが大事。
- ・思い切って放っておくのが難しい。
- ・子どもと親が話せる関係。
- ・子どもに逆算させて、起きる時間などを自分で決めさせる。
- ・自立にもいろいろある。
- ・女の子はしっかりしてる。
- ・親の弱みも見せる。
- ・思うだけではなく、心の声は言葉で表してあげる。伝えてあげる。
- ・飴と鞭の使い分け。
- ・親が言えは言うほどダメになる。
- ・自分で決めさせるようにしむける。日常生活から始める。
- ・中学生には聞かれても自分で決めてほしいからあえて突き放す。自分で決めればやり通すから。
- ・親が言っても結局本人次第。
- ・一緒に考え、一緒にふざける。
- ・男の子はかわいいから、自立したらさみしくなるかも。

グループ③／グループ⑬

テーマ①「参加したい学級懇談会 参加してよかった学級懇談会」

【参加したい学級懇談会】

- ・このワールドカフェ(分散会)みたいな話しやすい雰囲気。話せない人も話せる雰囲気。
- ・雑談交えてリラックスした雰囲気。
- ・信頼できる先生の話を知りたい。
- ・気軽に退室できるとありがたい。(保育園のお迎えなど)
- ・お茶とお菓子付。
- ・テーマがある、発見がある。
- ・テーマが決まっていた方が話しやすい。
- ・子どもを預ける場所がある。(プラザやセンター以外、地域の人が面倒見てくれる、支えるなど)
- ・お小遣いについての話し合いに出てみたい。
- ・楽しい雰囲気、話しやすい雰囲気。話を引き出してあげるのも大事。
- ・声掛け合って「参加しよう!」と誘う。
- ・床に座って井戸端会議のような雰囲気。

【参加してよかった学級懇談会】

- ・他の子の家の様子がわかる、聞くことができる。
- ・クラスだよりをよく出してくれる先生→先生の話を知りたい→いかに親を巻き込むかが重要。
- ・クラスの雰囲気がいいと出やすい。
- ・学校での様子をスライドにしてくれると、ほとんどの保護者が参加した。先生の協力も大切。
- ・参加してみたら楽しい時間が過ごせた。親とのコミュニケーションがとれた。
- ・会話が弾む、仲良しのお母さんがいるクラス。
- ・子どもの話ができる。
- ・働いているのでなかなか電話に出られない。懇談会に参加することで、コミュニケーションをとることができ、連絡しやすくなる。
- ・クラス会長が保護者をまとめてくれる。

【その他】

- ・「一人ひとこと」を言うのが苦手。
- ・だいたい「家での様子は?」になってしまう。
- ・上の子だと出席率が高い。
- ・学年が上がると出席率が悪くなる。学校行事の説明会のときは出席率が良くなる。
- ・気になることがあるといつもは参加しない方も来る。
- ・学校本部からテーマの提案がある。
『ゲームのこと』『家庭学習のこと』(しかし、テーマを聞いて帰ってしまう人もいる)
- ・お父さんが学級会長だと、他のお父さん方が協力したくなる。
- ・子どもの野球参加から父親が学校に顔を出すようになった。

グループ③／グループ⑬

テーマ②「応援しよう！子どもの自立」

- ・自立とは自分の力で生きていく力、自分の意見を持つ！言える！
- ・忘れ物をして、自分で責任を持てるよう届けたい。でも必ず「自分でなんとかしなさい」と親子で話をする。
- ・学校の準備など、ランチョンマットなど簡単なものから全て自分で用意する。
- ・自分でできることはなるべく自分でやるように伝える。責任は自分にある。どうしたらいいか考える子に。もし困ったときは相談。選択はいろいろ。
- ・お金の管理。
- ・知識ではなく知恵を育てたい。
- ・親も自立する。
- ・子どもの自立は親の子離れ。
- ・何でも経験させる！
- ・山本シュウさんになってみる。「そっか、〇〇だったんだね～」
- ・将来自分で生活できるように、応援と学びの提供。【共育】
- ・夢、目標をもつ。
- ・何をどう判断していくか。忘れたらどうするか、聞ける子と聞けない子。
先生のタイプによって聞けたり聞けなかったり。教室の雰囲気にも左右される。
親が応援できることは、【忘れなかったことを褒める】
- ・どうして忘れるかを考える。
- ・何か憧れや希望を見つける。
- ・家での会話の中でできることがある。
- ・反抗期がこれからきても、その後自立していく。
- ・家でのコミュニケーションが大切。
- ・学校の様子を聞く。
- ・教えるのではなく選択させる。自分で考える力。
- ・失敗をさせよう！
- ・親の背中を見せる！（特に父親）
- ・子どもの部屋には入らない。
- ・お手伝いをしてお小遣いをあげる→知恵を育てる。（ただし半年に1回点検）
- ・ガールスカウトのような経験は自立にいい！
- ・親が口を出さずに、子ども主体で動けるよう励ます。
- ・このくらいは自分でやると思う反面、口を出してしまう。見守る努力！
- ・転ばぬ先の杖はダメ。ダメだったとき、親の責任にしてしまう。
- ・昔は子どもだけで旅行に行く企画があった。今はせいぜい修学旅行。キャンプなど体験させることが大事！
そういう体験を通して大人のすごいところを見せ、学ばせる。
- ・次の日の準備のことは口を出さない、今日あったことには耳を傾けたい。
- ・昔と社会事情が違う。何でも調べられる。情報が多い→自分の意見を持ってない。
- ・自分をしっかり持つために自信をつけさせてあげる。
- ・態度で示す。憧れの存在。（お父さんの力が大事）
- ・なかなか自分ひとりで行動しないから、いろいろ口を出してしまう。親は先の先まで口を出さない。
- ・いろいろ言い過ぎず、親は子どもの意見を聞いて側面支援。

グループ④

テーマ①「参加したい学級懇談会 参加してよかった学級懇談会」

【参加したい学級懇談会】

- ・茶話会(クラス替え前の懇談会)、親子合同レクリエーション、先生への感謝を伝える会。
- ・テーマが出ている。
- ・お茶を飲みながらの懇談会。
- ・気になるテーマを前振りして、親子で参加もおもしろいかも。
- ・図書館の先生に来てもらっておすすめの本を聞きたい。

【参加してよかった学級懇談会】

- ・話しやすい雰囲気。雰囲気のいいクラスは大勢集まる。
- ・虫歯について、保健の先生に話をしてもらった。
- ・性教育についての話。
- ・反抗期の具体的な会話や言葉使いなどの話。

【その他】

- ・子どもの迎えがあるからゆっくり話せない。
- ・地域性が出る。

テーマ②「応援しよう！子どもの自立」

- ・ありがとうの気持ち。礼儀やマナー、金銭感覚。
- ・ほめる！「ありがとう」と伝える。挨拶は大事。
- ・失敗させる→学ぶ→認める、見守る(地域全体で)
- ・小3の子どものこと。やりたいという気持ちがあるものすごく出てくる。先生は色々挑戦させて失敗させてくれる。経験させることが大事。
- ・親と子どもの少しの距離も必要。自分のことは自分でできるように普段の生活スタイルも大切。
- ・朝の着替え、何を着たらいいか聞いてくる。自分で決めてほしい！
- ・服を「季節に合わせて」など言いすぎない。
- ・部活が決められない。つい言いすぎてしまう。距離感が大切。上の子ほど過保護になる。
- ・ある程度放置する。
- ・親が見本となる。
- ・お小遣い、ある程度の金額の使い方も大事。
- ・親の目を気にする、他人の目も。
- ・お父さんの関わりが大切。
- ・親が心配する気持ちも我慢。
- ・逃げ道をつくってあげておく。(おじいちゃん、おばあちゃん)

グループ⑤

テーマ①「参加したい学級懇談会 参加してよかった学級懇談会」

- ・懇談会は話しづらいので、テーマを決めておく。
- ・資料見ないで話し合いに集中するといいいね！
- ・発言が活発じゃないと出たくない。
- ・懇談会の雰囲気が苦手で、正直これまではあまり出席していなかった。
- ・今度は真逆の盛り上げる立場。さあ、どうする。どうすればいい？
- ・中学校はクラス懇談会が15分で短い。その中でいろいろ話し合うが、親の顔がわからないまま…
- ・コの字の席は話しづらい。グループで話し合うと話しやすい。
- ・スマートフォンについてなど、テーマを決めて話すよかった。
- ・悩み事をアンケートを取り、テーマを決めて話し合ってたよかった。
- ・いつ話し合いをするか先に保護者に知らせておく。
- ・気軽に話せるグループトーク。先生も巻き込んだ雑談で盛り上がりたい！！
- ・各家庭の子どもの様子を聞くことができてよかった。

テーマ②「応援しよう！子どもの自立」

- ・子どもの意見に自分はこう考えると伝え、それは違うとは言わない。
- ・自立の応援は自分ですることを増やすことかな。
- ・困ったときに人に聞く、頼る力。
- ・小学生の時はお小遣いはバイト制で！（お箸ならべ、新聞とり、布団あげ等一回10円～）
- ・子どもに相談をされた時に、「どう思う？」と子どもに問いかける。
- ・自分の体験を子どもに話をする。
- ・自分たちの時代ではなかった問題が今の時代にはあるように思う。
- ・スマートフォンは決まり事決めて。ルールをしっかりと教える。フィルタリングをしっかりとする。
- ・親にLINEやSNSなどの勉強会が必要。
- ・自分の子どもは偉い！と思っている。
- ・親はなくとも子は育つ。無理はしない。
- ・認めてあげる。
- ・親の満足のための自立ではダメ。
- ・人に迷惑をかけてはダメ。
- ・子どもがやろうとする芽をつまなければよい。
- ・失敗させることも大切。でもその責任は親にある。
- ・スマートフォンやLINE問題のように、現代の社会事情により子どもを取り巻く環境は昔とは違うので、親がどこまで干渉したらよいか悩む。
- ・スマートフォンは持たせていなくてよかったと思ったこともある。考える力が身につけていた！

グループ⑥

テーマ①「参加したい学級懇談会 参加してよかった学級懇談会」

- ・懇談会前にお便りで案内する。
- ・全員がひとこと発する。
- ・雰囲気的大事。アイスブレイク投入。
- ・全体より少人数に分ける。
- ・雑談が盛り上がる。
- ・お便りで「大事な話がある」と伝える。
- ・言い合える懇談。
- ・楽しいのが一番！
- ・夜の懇談会はクラスの半分以上参加がある。
- ・夜の懇談会では、本音も多く出る。
- ・子どもの行事のことで盛り上がる→親の横のつながりができる→親子レクリエーションが盛り上がる！
- ・ベテランの親が多いと色々意見が出ますが、静かな会だと意見が出ず話をしづらい感じに。
- ・中学校の学級懇談会は時間も短くあまり意味がない。連絡で終わる。
- ・中学校は報告で時間が終わってしまう。
- ・小学校の方が話が盛り上がる。
- ・仲の良いお母さんたちがたくさんいる。
- ・リラックスできる。
- ・情報を共有できる。
- ・ワイワイして気軽に意見が出せる。
- ・担任の先生からクラスの様子を直接聞くことができる。
- ・他のお友達の様子がわかる。

テーマ②「応援しよう！子どもの自立」

- ・親の手伝いをさせる。
- ・親がすぐに手を出さず、子のできることを考えさせる。
- ・見守る→自立
- ・家での役割を一つ一つできるようにしていく。
- ・環境:自分がどうにかしないといけない！と思えるように。
- ・情報:情報を仕入れて、自分で決める。
- ・親は失敗したときの受け皿に！
- ・お手伝いに値段をつけて、働かないとお金は稼げないことを教える。
- ・お小遣いでやりくりさせる。
- ・家では荒れていても、外ではきちんとしていることも。
- ・放っておく。失敗をさせて自立に気付く。(気づけばいいけれど・・・)
→親元を離れたときに気付くよ！
- ・親が子どもを頼りにする。
- ・親の弱いところを見せる。
- ・甘えたいときは甘えさせる。今だけ！
- ・(手助けしてくれる)大人がたくさんいるから、実際には子どもが自分で何かをやろうという気になるのか？
- ・失敗は大事。
- ・自分で情報を得る。
- ・失敗した時の親の対応が大事。
- ・自分で考えさせる。

グループ⑦

テーマ①「参加したい学級懇談会 参加してよかった学級懇談会」

- ・親同士が仲良しだと何でも話せる。
 - ・皆で和気あいあい話ができる。
 - ・井戸端会議が大きくなったような、いい雰囲気。
- } 悩みを共有でき、相談・対策がわかる！
- ・親同士がつきあうきっかけがたくさんあるといい。
 - ・親子で一緒に話し合う懇談会は？
 - ・子どもが自分の親を紹介し、親が子どもの紹介をするのは？
 - ・子どもの良いところを言い合う。
 - ・時間通りに終わる。
 - ・学校での様子を教えてもらいたい。
 - ・学校生活をスライドで見せてくれるといい。

テーマ②「応援しよう！子どもの自立」

- ・いろいろ体験をさせてみる。
 - ・年齢に合わせ、何でもやらせてみる。
 - ・何でも受けとめる、認める。
 - ・一人暮らしをして、人(親)のありがたみがわかった。
- } 家族の会話を大切にする。
親子の話し合いが大切。
口うるさく言わない。
見守る。
- ・人と比べず、自分に自信をもって生きる。
 - ・忘れ物をしたとき、どうするか？親の対応が大事では？
 - ・親の自立

グループ⑧

テーマ①「参加したい学級懇談会 参加してよかった学級懇談会」

テーマを決めた

- ・金銭感覚(お小遣い)の話
- ・スマートフォン、ゲームのルールの話
- ・反抗期の具体的な問題と会話、言葉づかい
- ・悩み事

他の子や、他の家庭の話が聞けて安心。
もっと話したい、話を聞きたいと思え、
参加してよかったし、また参加したい

- ・楽しい懇談会
- ・雰囲気がいい懇談会

フルーツバスケットでコミュニケーションをはかる事で、
楽しく、雰囲気も良くなった。雰囲気作りはとても大切！！
学級会長さんのキャラによっても懇談会が変わってくるが、
クラスにムードメーカーさんがいるといいと思う

テーマ②「応援しよう！子どもの自立」

自立とは??…自ら立つ・自分で生きて行く力

親が子離れする勇気を持つとう！

子どもが心配で、ついつい手出し、口出してしまふ。
我慢して見守る忍耐力！
親の理想を押しつけてしまふ。
親自身も自立できているだろうか？

いい意味で子どもを放っておく

親の助けを借りずにしたことで、失敗することもあるが、失敗から
学ぶこともある。
子ども自身に責任を持たせる。
時には親の弱いところを見せると、自然と子どももしっかりする

グループ⑨

テーマ①「参加したい学級懇談会 参加してよかった学級懇談会」

◎参加したい！という魅力的な懇談会やクラスの雰囲気大切に☆
学級全体で懇談会を盛り上げようと工夫している

そのためには・・・

- ①短時間
- ②テーマが決まっている・興味のあることについて話し合う
- ③スライドショーがあると嬉しい

①短時間

・忙しい毎日なので、ムダなく短時間で終わるとありがたい

②テーマが決まっている・興味のあることについて話し合う

- ・「子どもの様子」では様々な話題が出てきてまとまらない、言いつばなし。→長くなる要因？
- ・内容が曖昧だとダラダラしてしまうので、要点をしぼった内容！
- ・前もって内容がわかっている

③スライドショーがあると嬉しい

- ・先生が行事の写真などをスライドショーしてくれるので見に行きたい
- ・スライドで授業内容を見せてくれる

○懇談会を“井戸端会議”に！

テーマ②「応援しよう！子どもの自立」

- ・子ども自身が気づく。
- ・子どもの気づきを待ってよう。
- ・最終決定は本人にさせる！
- ・親は多くを語らず見守る。
- ・見守る努力。

子どもの行動や言葉について、親の意見をつい言いたくなるけれどグッとこらえて子どもに任せる

経験をさせる→自分で考える→責任をもたせる→自発的な行動

- ・約束は守る。
- ・親がいなくても自分から料理をする。
- ・どうしたいのか、話をきちんと聞いてあげる。

グループ⑩

テーマ①「参加したい学級懇談会 参加してよかった学級懇談会」

- ・親同士日頃の子どもの事で不安や悩みなどを話す。自分だけが悩んでいるのではないと感じ安心した。
- ・話しやすい場、出席者全員の前で発言よりも、5～6人のグループを作って話すほうが楽しそう。
- ・得るものがあると次も出たくなる。
- ・子どもの悩みを小グループで話し合う時間が持てたことがよかった。(心が軽くなった)
- ・5～6人で話す、悩み等→情報交換、気が軽くなる。
- ・子どもの困っている事を話したり、聞いたりして共感できた時はよかった。
- ・子どもの悩みを話せる会があればいい。
- ・携帯・スマートフォンのテーマについての話。
- ・ゲーム(通信等)についての話。
- ・進級、進学についての話。
- ・子どものクラスでの様子を聞きたい。
- ・他の家庭でのルール。(宿題など)
- ・小グループで話やすい場をつくる。
- ・子どもの学級での姿を教えてくれる。(写真など)
- ・普段立ち話などでは聞くことのない話題の時は参加してよかった。
- ・キュウリがお茶受けに出た時はうれしかった。

テーマ②「応援しよう！子どもの自立」

- ・学校へ行く準備、持ち物をそろえていく。
- ・親の意見をあえて言わない。押し付けない。
- ・ひとりで留守番。親が働いて留守だからこそ。
- ・親からみた自立、子からみた自立は違う？
- ・やる気をなくす言葉は「早くしろ」。やる気になる言葉は？
- ・お小遣いの使い方が大切。
- ・親の我慢！！余計なひと言をいわない。
- ・子どもがやる前に先に言っちゃうのはダメ。(´・ω・`)
- ・何をもって自立というの？子どもから大人への階段。
- ・余計なひと言をいわない。
- ・自分(子ども)の持ち物は、自分で準備。必要以上に手を出さない事が大切 ⇒自立を促す

グループ⑪

テーマ①「参加したい学級懇談会 参加してよかった学級懇談会」

- ・クラス懇談会に出て、他のお母さん達と仲良くなれて子どもの様子や色々なことを話せるようになると改めて感じた。
- ・最後の懇談会で茶話会をして、先生が一年の思い出をスライド上映してくれた。
- ・子どもにアンケートをとり、そこからテーマを考えるのもいいかも！？
- ・一年通してテーマを決める。
- ・人数が少ない中で、最後の懇談会で茶話会でもと思ってやったけど、逆に盛り下がってしまったことも。
- ・子どもたちの様子を先生がスライド上映してくれてよかった。
- ・学級会長の場の持ち方により雰囲気が変わる。
- ・クラスの保護者との飲み会で雑談すると、その後の懇談会の出席者も増える。

テーマ②「応援しよう！子どもの自立」

- ・自分の考えを持つ、行動する。
- ・つい、口うるさく言ってしまう。
- ・反抗期は大切。これは自立につながる。
- ・中学生は、自分のやりたいことが見つかった時に自立する！？
やりたいことを見つける応援をしてあげる。
- ・親は応援。
- ・子どもの未来、子どもがひとりで歩ける道を見守る。
- ・子どもの自立は、親の子離れ。
- ・子ども自身が電話して、約束して遊びに行く。
- ・父親の協力。父親がほめる。
- ・危ないからと道を整備しない。本当に危ない時は手をかす。
- ・地域性で差が出る。
- ・子どもの自立＝親の自立。
- ・自立は難しい。

グループ⑫

テーマ①「参加したい学級懇談会 参加してよかった学級懇談会」

テーマ別懇談・グループトーク

- ・保護者の職業を生かして講演
- ・時事ネタや雑談から生まれるテーマ
- ・朝ごはんについて
- ・うちの子自慢
- ・悩み事

障がいを持つ子どもの話も気軽に話したいので、
テーマ別の方が話しやすくていい。
先輩お母さんの体験談が聞けた。
専門分野に詳しいお母さんに話を聞けて勉強になる。

- ・可能な範囲で有名人を呼ぶ
- ・ポイント制にして出席優秀者には何か特典がある
- ・食べ物が出る(お茶菓子、漬物、持ち寄りのお菓子等)

堅苦しくせずに、レクリエーション感覚で懇談会の場を持てば、楽しむことができ、緊張もほぐれ、
雰囲気が良くなる。
出席率もあがるのでは？

テーマ②「応援しよう！子どもの自立」

・「早くしなさい！」と言ってしまう…自分で動けるようになって欲しいのに。



声掛けの工夫をしよう！

- 前向きな言葉掛け
- 褒め倒す
- なるべく口出ししないように我慢！

・生活力

- ・自分で起きる
- ・毎日の服選び
- ・時間、お金、持ち物の管理
- ・後片付け

自分でできる
習慣付けを応援

- ・やりたい事を自分で考えさせる。
- ・自信を持つ事で自立につながる。
- ・精神面も強くなければ…

・お手伝い

- 担当を決めて日給(お小遣い)制。働いて稼ぐことの大切さも学べる。
- 家族の一員としてお手伝いはやるものだ、という習慣付け

・家族会議

- 親と対等の立場で、自分の意見を言えるように！
- 自分の意見を持つことは大切！
- 自信にもつながる。

グループ⑭

テーマ①「参加したい学級懇談会 参加してよかった学級懇談会」

- ・先生の実体験もまじえての話はとても参考になる。
- ・地域の方にも参加してもらい、大人も参加する授業。
- ・年々学級懇談会の回数が減っている。
- ・一緒に授業を受けたい。懇談の時も含めた、ワクワク、ドキドキ体験。
- ・子どもと参加型の懇談会は言いたいことを言い合えてよかった。
- ・地域の方も含めた授業や学級懇談会。
- ・テーマを選ぶ、題材の収集。
- ・カフェに来たような雰囲気の時があってもよいかも。
- ・ポイントカードなどを作って参加を募るのもあり？
- ・有名人を呼ぶ。
- ・テーマが決めてあるとよい。
- ・さいころトークなどで楽しく。
- ・職場体験を教室で行う。
- ・飲食などで和やかに→繰り返す→仲良くなる →参加率UP
- ・子どもの様子を知ることができる。

テーマ②「応援しよう！子どもの自立」

- ・おこらない。
- ・共通のルール(話題)づくり。
- ・子どもがやりたいことを見守る。信じて任せる。(親に余裕がないと・・・)
- ・子どもが興味を持ったことを大切にする。
- ・職業体験(キッザニアのPTAバージョンなど)で、社会を学ばせる。
→古牧小には職業体験があるらしい。うらやましい、うちの子どもにもやらせたい。
※古牧フェスタ:全学年が職業体験(10トン大型トラック、白バイ、消防士、トランペット、ケーキ作りなど)
- ・子どもが自ら体験をすることが大事。
- ・失敗が経験につながる。
- ・夢に向かって、目標を持つ。
- ・金銭感覚を身につける。
- ・見守ることが大切。
- ・留守番ができる。
- ・失敗を次に活かせるように励ます。認める。
- ・体験の繰り返し、それを見守る。

グループ^⑮／グループ^⑯

テーマ①「参加したい学級懇談会 参加してよかった学級懇談会」

- ・ テーマによっては、大勢参加する。
- ・ 参加したいと思わせる。
例えばテーマを決めて事前にお便りや、事前にアンケートが配られることもある。
- ・ 中学生は入試の動向。
- ・ 高原学校のこと。
- ・ 子どもの様子。
- ・ 聞き逃したら困るような内容。
- ・ 茶話会(お茶とお菓子)。懇談会の時もお菓子、お茶があればいい。
- ・ 担任の先生の協力も必要。
- ・ 先生との信頼関係があるほど出席した。
→先生との信頼関係を築くには、どうしたらいいのか？
- ・ 先生が子ども達のスライド(日頃の写真)を見せてくれる。
写真などの情報は楽しい。その後の話が盛り上がる。
- ・ 何でも話せる気楽な懇談会。
- ・ 少人数だからこそそのメリット。
- ・ 先生から情報を聞くことができる。
- ・ 多くの保護者がいれば参加したいと思う。
- ・ 皆の名前と顔が一致。
- ・ 役員がゲームを主導してくれ、楽しく和やかで雰囲気よかった。
- ・ 行くのが当たり前という雰囲気になっている。
- ・ 各部のお知らせで終わるので、ワールドカフェを行い、たまには昔の話も聞いてみたい。
- ・ PTAの学級のお茶代をいつも最後に使うが、毎回少しずつ使ってみてもいいかも。(飴など)
- ・ ワールドカフェ的懇談会。
- ・ よかったと思えることが少ない。
- ・ 忙しい人が多いので座談会的なのは難しい。
- ・ 母親同士のコミュニケーションがとれないと、その中に入れたい人は困る。
- ・ お父さんの参加がない。
- ・ 「一人ひとこと」が苦で遠のく。
- ・ 兄弟がいると時間がとれない。
- ・ 懇談会の時間が決まっていて、時間が短くタイムリーな話ができない。

グループ⑮／グループ⑯

テーマ②「応援しよう！子どもの自立」

【グループ⑮】

- ・ 体験させること。
- ・ 自分が何もできないまま大人になって苦労したので、子どもに手伝わせるが楽しくできない。
- ・ キャンプで生きる力をつける。
- ・ 中学生の子で部活が決められない。何がしたいか分からない。
- ・ 親の助言より、友達の助言が効果あり。友達の存在が大切。
- ・ 大きくなったら一度家を出て、自活するよう話している。
- ・ 自分自身を管理する。
- ・ 早いうちから一人で生活することを考えていく。
- ・ 自分のことを決められない。
- ・ 周りの友達の影響もある。友達をみてから決めることもある。
- ・ 子どもに任せる。
- ・ 親の手伝いをして生きる知恵を覚えてきた。
- ・ ハード面・ソフト面の自立方法が分からない。
- ・ 友達が少なすぎて子どもの自立が阻害されている気がする。
- ・ 今の自分にあった自立を応援したい。
- ・ 口うるさく言いすぎてしまっている。黙って見守ることができていない。

【グループ⑯】

- ・ 「話を聞いて！」と言ってくる子どもに「後で」といってしまう。
- ・ 子どもが何も話してくれない。
- ・ 親として、色々面倒見すぎないように。
- ・ 何でもやらせてみよう。
- ・ ほめる。
- ・ 子どもがやったことを否定しない。
- ・ 掃除をしたが汚い所がある！でもグッと堪えて「ありがとう」と言い、「次はもう少しこうしてくれたら嬉しいな～」とお願いする。言い方がとても大切。
- ・ 「親離れ・子離れ」
- ・ できる事は自分で、手を出し過ぎない。
- ・ 夕食後の食器、お弁当箱は自分で洗うように。
- ・ 親がやった方が早いと思っつつい、手を出してしまう。
- ・ 親が駄目だと子が育つ場合も。
- ・ 失敗する経験を奪わないことが大事だと思った。
- ・ 自分で判断させる。食べる時間起きる時間、方法を決めさせる。
- ・ 自立心を育てる方法。親があえて何もしない。
- ・ 子どものタイミングを待てないことがある。

<まとめ>

子どもとの会話、コミュニケーションが大事。何でも自分でやってみるといふ気持ちを大切にあげたい。

グループ⑰

テーマ①「参加したい学級懇談会 参加してよかった学級懇談会」

【参加したい学級懇談会】

- ・地域の方に伝統芸能など伝えてもらいたい。
- ・地域の方とのつながりの強い活動。
- ・家での様子を聞くより、先生から学校の様子や役に立つ情報をもっと聞きたい。
- ・本音はLINEで話せてしまう。懇談会では本音は言いづらいから、座談会ではなく先生からの話など聞きたい。

【参加してよかった学級懇談会】

- ・お小遣い、スマートフォンの使い方などのテーマを決めて学級懇談会で話し合えたことがよかった。

【その他】

- ・学級懇談会での話をきいてもらいたい親に限って、懇談会に来ないことが多い。
- ・参観日が年6回あるが、地域とのつながりが少ない。

テーマ②「応援しよう！子どもの自立」

- ・まだまだ自立させようと思うのは早いかな。子どもの方から少しずつ自立していくのをあたたかく見守ってあげたほうがいいのかなと。
- ・一番上の子には、一番手を出してしまう。自立を妨げてしまう。
- ・自分が過保護だな、と自覚しています。自立を妨げていると自覚、反省。
- ・高2の息子の場合、進路など何をもって自立というのか。年齢が上がるにつれ子どもは自然に自分で自分のことをするようになった。
- ・自分1人で決めて1人でやることだけが自立じゃない。
人に助けを求めることができることも必要じゃないかと思う。
- ・子の自立には親の責任も伴う。
- ・家事とか仕事とかが早くたくさんできることも大切だが、「できないから教えてほしい」「分からないから調べよう」ということができるのも心の「自律」。
- ・甘えてくる子を突き放すだけが自立をうながすとも思えない。
しっかり甘やかす、甘えておけば安心して自立する時がくる。